

糖尿病だより

2012年10月
No.23

～病棟看護師より～

皆さん、「低温やけど」をご存じですか？

低温やけどとは??

少しの時間なら問題ない熱さでも長時間皮膚に接触していることでおこるやけどです。ふつうのやけどと違って皮膚の表面よりも深部の障害が大きいのが特徴です。

だんだん寒くなってくると、暖房器具を使う機会が増えてきますね。合併症の1つである神経障害、血流障害の影響でケガや、やけどに気づきにくかったり、足が冷えやすくなります。さらに、ケガや、やけどを負ってしまうと治りにくいため、足にトラブルが起きないように予防することが大切です!!

低温やけどの注意点

ストーブから 足を離して使用しましょう!

カイロは直接肌に当てないように!

お風呂の湯の温度を手で確認しましょう!

湯の温度は 40 度以下にしましょう!

湯たんぽ、電気あんかを使用するときは、足を離しましょう! 神経障害が疑わしい方は使用しないでください。

足を毎日観察し、傷や色の変化がないか見ていきましょう!!

糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。



糖尿病療養指導スタッフ一同

国立病院機構 姫路医療センター